

アイユーゴー 通信 第11号

申し込み及び問い合わせ先：アイユーゴー ～途上国の人と共に～ 事務局

住所：590-0432 大阪府泉南郡熊取町小垣内1-10-18 TEL：072-452-8340 FAX:072-452-5680・090-9167-7053 (新田)

振込先：[アイユーゴー ダイヒョウリジ ニッタサチオ]

ゆうちょ銀行：00980-2-71223 / 三菱東京UFJ銀行阿倍野支店：6,921,467 / 三井住友銀行佐野支店：7,260,788

e-mail：snittaskmj0715@yahoo.co.jp homepage：<http://aiyugo.fc2web.com> (設立：2001/10/15)

発行 新田幸夫 編集 加藤鐘三 中川一之

目次

- (1) 2008年度 新年度に向けて
～新田幸夫 代表～
- (2) 新年度の東海支部の活動予定
～塚田充広 東海支部 支部長～
- (3) 島根ブロック協議会 ラオス事業 (GTS) と
アイユーゴーとの協力
～2005年度島根ブロック GTS 委員長
林 陽一 (島根大田J.C)～
- (4) ベトナム ダラット大学でのシンポジウム参加と
カッチエン地区農業研修センター候補地視察
～塚田充広 東海支部 支部長～
- (5) スタディーツアー参加者による同窓会
～北谷成人 理事～



島根ブロック協議会 GTS 事業
ラオス サバナケート県フォンソンホン村

2008 年度総会を終えて、

新年度に向けて！

アイユーゴー 代表 新田 幸夫

梅雨入りが宣言され、田植えのシーズンがやってきました。タイ、ラオスでは雨期が来て、家族総出で田植えをしています。なかには学校に行くかわりに、お父さん、お母さんと田植えをしながら一日を過ごす子たちもいます。



日ごろより、本会の活動に温かいご支援ご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さる5月11日に京都府国際センターにおきまして、2008年度の総会を無事終えたことのお知らせし、現地の活動状況をご案内いたします。

タイでは、パンマパーの農業情報センターのメンバーが中心に、森林保全と再生さらにセンターで少数民族に農業・植林指導を行っています。また、タイのアイユーゴー代表のワチラ氏は、メーホンソンで少数民族の子供たちのための図書館建設を進めています。

ラオスにおいては、今までは、乾期になると田んぼは荒地に変わり、ほとんどの村人はただ雨乞いするだけの生活でありましたが、昨年農業支援センターが建設され、広大な貯水池が補修されて、さらにゴム・マンゴの植林・栽培が進み、村人たちは村の活

性化のために本格的に活動することになりました。、村人10数人との会合で、「緑の村にして観光地にしようよ」と呼びかけると、郡の副知事が体を前のめりにして、村人に「やっていきましょう」と声をかけていました。

今夏、タイの農業支援センター長をラオスの事業地に招き、ラオス人にゴム・マンゴの栽培指導、さらに農業支援センターの活用などの指導をしていただきます。

ベトナムでは、神戸大学医学部とダラット大学社会福祉学部の合同で、医療保健と福祉のセミナーを開催します。現在その準備を進めています。

なお、会員の皆様にも是非現地に行っていただき、豊かな自然のなかで暮らしておられる現地の人たちとの心の交流をしていただければと思います、9月(タイ)、12月(ベトナム)、3月(ラオス)でのワークキャンプを企画していますので、ふるってご参加していただけますようよろしくお願いいたします。どうぞ今後ともご協力のほど、

よろしくお願いいたします。



2007年度事業報告

(1) 教育支援プロジェクト

(i) 少数民族の居住地における小学校の建設とトイレ建設
(継続事業)



ベトナム・ラムドン省
(ひろしま祈りの石
国際教育財団)

(2) 農業地域開発プロジェクト

(i) 少数民族の生活改善のための貯水池及び
パイプライン設置



タイ・メーホンソン県 バンマパー郡 (ゆうちょ財団)

(ii) 少数民族の生活環境を守るための森林保護



タイ・メーホンソン県 バンマパー郡 (みどりの募金)

(iii) 農民のための池の修繕及び土木工事技術指導



ラオス・サバナケート省サイフォウホン地区(ゆうちょ財団)

(iv) 農民のための農業支援センターの建設及運営指導、
有機栽培・衛生講習の実施



ラオス・サバナケート省
サイフォウホン地区(ゆうちょ財団)

(v) ラオス中南部における農民の自立支援と森林保護の
ための農村開発



ラオス・サバナケート省サイフォウホン地区

(3) 日本の国際協力事業へのアドバイザーとしての参画

(i) マダガスカル共和国への救急車寄贈



マダガスカル共和国

(4) 保健衛生に関する事業

(i) 少数民族の貧困と保健衛生に関連する調査。



ラオス・サバナケート省
サイフォウホン地区

(5) 自主事業 (ワークキャンプ)

本会での事業現場で、村人と文化・技術の交換を通じた
交流。

(i) ダラット大学学生と少数民族の自立支援のための
ジョイントワークキャンプ。(次年度継続)

ベトナム・ラムドン県 ラット地区

(ii) 貯水池工事の協力と食文化交流

ラオス・サバナケート省サイフォウホン地区



今年度の東海支部の活動予定

アイユーゴー東海支部 支部長 塚田充広

昨年度 Aiyugo 東海支部として発足のパーティーを開催いたしました。本年度は、昨年の仲間に新たなお声かけをお願いし、また、私たちが出会ったきっかけとなったJCのGTS事業の参加者の皆様へご案内をして、会員の拡大と支部活動への可能性を探っていきます。具体的には10月頃を目処に、東海支部交流会(仮)を開催し、東海支部メンバーの結束と拡大を図ります。その席で、Aiyugoの今までの活動の紹介をし、活動への理解とご協力を求め、また、皆さんの意見をお聞きし、今後の活動の方針を検討していきます。東海支部には理事が4名おりますので、4名で連絡を密にし、連携して活発で参加したくなる事業展開をします。



島根ブロック協議会 ラオス事業

(GTS)とアイユーゴーとの協力

2005年度島根ブロック協議会 GTS委員会委員長
(社)島根大田青年会議所 林 陽一



「動いて感じて熱くなれ」の思いで始動

2004年10月の終わり、2005年度島根ブロック協議会GTS(グローバルトレーニングスクール)委員長の話の頂き少々驚きはしました。しかし「海外という垣根をとりはらい我々島国日本人がグローバル



なものさしで物事を判断するとき個人に真の成長があり、それが別段珍しい体験でもなく日常当たり前のことであると思える個人であって欲しい!今の時代だからこそGTSが必要なんだ!」と熱く語られた2005年度島根ブロック協議会 飯塚会長の想いに共感し「動いて感じて熱くなれ」のスローガンのもと活動を開始

しました。

全くのゼロからのスタート

とは言ってもGTSは全くの手探り状態でゼロからのスタート、まずはWebサイトで情報収集を行いすぐに感じるサイトに出会いました。「アイユーゴー」?どういう意味だろう?ギリシャ語でコミュニケーションを「アイユーゴー」「アイ」「ユーゴー」は、日本語で「愛・融合」、英語で「I You Go!」と読むこともできる。なんとも素晴らしい団体名だろうと感じ、非常に興味がわき、さらに「ボランティアはお祭りではなくそこに生活する人の事を考えた支援活動」その一言がアイユーゴーに協力要請をする最大のきっかけでした。

アイユーゴーとの運命的な結びつき

実は、このときすでに導かれていたことは知るよしもありません。1990年代から日本JCから始まったGTS事業は地区へ移り2000年頃はまさにGTS事業は各地で多数開催されていました。各所のGTS事業で支援をされていたのが実はアイユーゴー 新田代表そのひとでした。2005GTS事業を進める際にすぐにそのことが判明しこれから組み立てていく事業に見えない大きな力を感じざるを得ませんでした。

GTS事業を終えて



現地で行った事業は小学校のトイレ建設支援事業、日本JC医療部会の協力により実現した「空飛車椅子」事業、現地の方との踊りによる文化交流や食事交流等の事業を行わせていただきました。

人生最大の喜びや幸せはなんだろう?とGTSに参加された方々は口を揃えて言われます。まさに「人生の休憩場所」としてふさわしいラオス サバナケート県フォンソンホン村での体験はより一層GTS事業を理解する事が出来る場所であったと思います。GTS事業はJCの全ての事業を集約したような珍しい事業です。人、地域の繋がりがやコミュニケーションの大切さ、子どもが教育を受けられる素晴らしさ、親としてのあり方、自己修練。全てJC活動に相通ずる事がフォンソンホン村で体感できたと思います。

今後の可能性について

「感謝の心」日々の忙しさに感謝する心を忘れがちではないですか?そんな風にもいつもフォンソンホン村の子ども達に問いかけている、そんな気持ちを心のどこかに留めながら Jaycee 活動にビジネスにそして地域貢献にGTS事業後は心掛けています。



島根県という土地からラオスに限らずいろんな国の支援活動が継続的に行えればという参加メンバーの声をよく聞きます。人的支援は難しいにしても違った側面でのお手伝いできないだろうか?環境問題や災害支援など多くの課題がある中で、まずは自分自信に

出来ることを何か？を今後は考えていこうと思います。

ベトナム ダラット大学でのシンポジウム参加と

カッ ティエン地区農業研修センター候補地視察

アイユーゴー東海支部 支部長 塚田充広

ベトナムのダラット大学において社会開発に関するシンポジウムが開催されるため、新田代表の命を受けて参加してまいりました。

ダラット空港のお迎え

アイユーゴーメンバーの山本武彦君とともにダラット空港に到着すると、昨日からの台風の影響で空は曇り、空港到着ロビーでは出迎えてくれるはずのカンさん（アイユーゴーベトナム）の姿は見えません。きょろきょろと周りを見渡すと若い美人の女性が私達の名前を書いた看板を持っています。彼女の案内で大学の迎えのクルマに乗り込み、30分ほどの道程でダラット大学の図書館前に到着しました。

大学でのシンポジウム

こちらでは、新田代表から皆さんの前で代表の代わりに話をするように言われていたのですが、「カンさんは15時ごろ到着の予定」と連絡が入りました。

ダラット大学にてアイユーゴーの活動報告



14時50分ごろ無事にカンさんが会場にやってきてくれたので、挨拶もそこそこで、打ち合わせも出来ないまま壇上へ 結局 A i y u g o のプロフィールと近年のプロジェクトの報告をしましたが。

このシンポジウムでは、近年数多く創設されている、ベトナム国内での大学の社会開発学部の紹介が中心で、私たちのような活動事例の報告はわずかでした。前日にホーチミンシティにある戦争博物館で、人間が起した悲劇とその一番の被害者であるこの国の人たちの中に、自らの手で国を興そうとしていることは、素晴らしいことですし、その活動に少しでも関わりをもてるのであれば、それは、価値のあることではないかと感じました。

農業研修センター建設の現地調査

翌日は『次年度農業研修センター建設希望の地域』へ現地調査にでかけました。ドライバーの女性は120キロぐらい離れたところで、3時間ぐらいで行けると言っていましたが、8時過ぎに出発して昼を過ぎても到着しません。途中道を間違えたようですが、ロスしたのは20分ぐらいだし、だんだん不安になってきたところにやっと現地へ到着しました。しかし、この国でも携帯電話の普及は目覚しく、道を捜している間もカンさんやドライバーの女性は携帯電話で道を確認しながらの移動でした。訪問したのは Cat Tien (カッ ティエン) という町で、6万人余の人口と8000世帯を数える自治体ですが、平均収入は4600000VND(約300US\$)で、アイユーゴーの支援対象になる条件はあります。ホーチミンシティの平均的サラリーマンに比べ低い水準の町の中

でも貧富の差が大きく、町のリーダー達はソコソコの水準の生活をしているように見えますが、少し離れた住民の住まいは今までに見たラオスやタイの貧困地域と同等かそれ以上に貧しく見えます。農業開発への意気込みは強いと感じましたが、実験農場は温室栽培も可能な施設を一度は作っていたようで、その跡も残っていました。現在そちらが使われていない理由があると思いますので、施設の有効利用を含め、現地に対するきちんとした確認作業をしなければいけません。

村人の思いをお聞きして

11月12日 午前中は山本君と共にダラットの市内見学。11時にホテルでダラット大学のタイ教授と待ち合わせ、食事をしながらの意見交換。Cat Tien では付加価値の高い農作物への変換を目指し、広範囲の住民のために宿泊設備を備えた農業研修センターの建設と、実験農場の再整備を求めていることや、彼らが地域の初等教育のため幼稚園を自分たちの力で建設していること、などを説明され、新田代表にその旨をつたえる約束をし、ダラットを後にしました。ついでに、タイ教授から、ダラット大学でボランティアの日本語教師を募集しているので紹介して欲しいとの依頼がありました。詳細は事務局までお問い合わせいただければ幸いです。

スタディーツアー参加者による

同窓会の実施

アイユーゴー理事 北谷成人

去る4月29日(火)15時より、京都府国際センターにおいて、スタディーツアー参加者による同窓会を実施した。

過去10数回スタディーツアーを実施しているが、今回は、その内、04年3月ベトナム、04年8月タイ、05年3月ベトナム、05年8月ラオスに参加した8名とアイユーゴー理事4名であった。それぞれのツアーの写真をプロジェクターで映



し出しながら、ツアーの日程について説明があった。その後、新田代表からそれぞれの地域のその後の発展についても報告があった。参加者もそれぞれの思い出のアルバムを見せ合い、エピソードを披露しあった。夕刻から場所を移し、会食をしながら、それぞれの近況報告やボランティア活動に対する思いも述べ合い、盛り上がりを見せた。参加者は「是非、機会があれば、また行きたい」と口々に言いながら、再会を期して京都駅で散会した。

【感謝】

アイユーゴー通信の発刊に対し、多くの皆様に御協力をいただき心より感謝いたします。今後もアイユーゴーの活動がより身近に感じていただけるように、様々な内容を記載いたしますので、今後とも宜しくお願いします。又、ホームページでは「新田代表のブログ」をスタート致しました。新田代表の日々の出来事からアイユーゴーに対する思いまで、様々な角度からの記載となっています。こちらも是非とも見ていただき楽しんで下さい。メール等で感想をいただければ嬉しく思います。

e-mail : snittaskmj0715@yahoo.co.jp

homepage : <http://aiyugo.fc2web.com>

また、今年も通信やホームページを通じてワークキャンプのご案内をさせていただきますので、こちらも御参加いただければと思います。 編集者